

あんしんなブロック塀の提案

あんしん・あんぜんなブロック塀とは、地震などの大きな揺れや衝撃に対して瞬時に倒れない塀であることです。

このような塀は、平面的にL形、T形、凹形などとして地震や強風などの横力に抵抗力を向上させることや道路境界から塀自体を後退させれば、塀が倒れても道路や歩行者に被害を及ぼさないなどの方法をとることです。

● 平面的な工夫をした塀



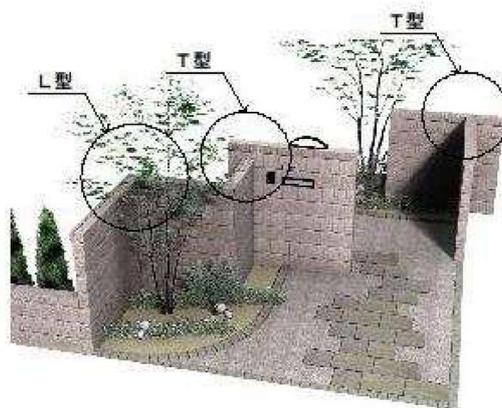
平面的に塀に凹凸をつけて、その凹部に植栽などをして、町並みの緑化にも工夫している例

● 道路境界から離れた塀



塀を道路から後退をさせ、後退をさせた空間を利用して植栽などで町並みの緑化にも工夫している例

● 門・塀の工夫



アプローチ・導入部分の塀をL形・T形（平面的に）とし、地震に強く、景観に工夫している例